

日本聖公会 管区事務所だより

日本聖公会管区事務所

162-0805 東京都新宿区矢来町 65

電話 03 (5228) 3171 FAX 03 (5228) 3175

発行者 総主事 司祭 矢萩新一

「信仰という履物」

管区事務所総主事 司祭 エッセイ 矢萩新一

「主の道を備えよ、その道筋をまっすぐにせよ。谷はすべて埋められ、山と丘はみな低くされる。曲がった道はまっすぐに、でこぼこの道は平らになり、人は皆、神の救いを見る。」

(2018年12月発行、聖書協会共同訳ルカ3:4c-6)

現代の私たちにとって、道を歩くには履物が必要不可欠で、必要に応じて様々な履物を使い分けています。我が家の靴箱にも数種類の履物があり、数年間履いていないものもいくつかあったり、愛用のサンダルは底がツルツルで雨の日に滑ってこまったりすることもあります…、新品の靴を履くと身が引き締まる思いになったり、子どもの頃は、遠足や運動会用に靴を新調することにあこがれを抱いたりしたと思います。

「しまってあった昔の靴を履いて教会に来られた信徒さんの靴底が壊れて、バザーの残りの靴があつて事なきを得たエピソードに始まり、時には裸足で道を歩く事も必要ですが、クリスマスを迎える私たちは、新しい履物を準備して、主の道を整えて歩む準備をしましょう」というある牧師さんのお説教からヒントを得ているのですが、私たちの信仰の歩みに必要な履物(信仰)とは何でしょうか。履き慣れたものは足になじんで歩きやすいですが、いつかは破れたり靴底が減ったりして履けなくなってしまいます。新しい靴は靴擦れをしたり、汚れが気になったりして落ち着かないかもしれません。しかし、いつかは履き替えなければなりませんし、雪道をサンダルで歩くわけにもいきません。登山道や獣道は、同じ道を何度も通ることによって踏み固められて歩きやすい道へと整えられていくことも確かです。

神聖な場所では履物を脱ぐ伝統があることも踏まえつつ、履物の文化を支えてきた被差別部落の方々への偏見の歴史も覚えます。エフェソの信徒への手紙の中で、「平和の福音を告げる備えを履物としなさい。」(聖書協会共同訳6:15)とありますように、すべての人が等しく神さまの恵みを受け取り、イエスさまの誕生という希望の光が届くようにと、私たちは祈り、分かち合い、行動する共同体であることを改めて心に刻み、新しい1年を歩み出したいと思います。クリスマスおめでとうございます。

□会議・プログラム等予定

(12月20日以降)

12月

26日(水) UNCSW63・女性の地位委員会打合せ〔管区事務所〕

28日(金) 管区事務所仕事納め

2019年1月

7日(月) 原発のない世界を求める国際協議会実行委員会〔管区事務所〕

8日(火) 管区事務所仕事始め

9日(水) 女性の聖職位に関わる委員会〔管区事務所〕

13日(日) ~14日(月) 各教区青年担当者の集い〔名古屋学生青年センター〕

14日(月) 臨時主教会、東京教区主教接手・就任式〔香蘭女学校〕

14日(月) 青年委員会〔名古屋学生青年センター〕

21日(月) ウィリアムズ主教記念基金基金委員会〔立教〕

28日(月) ~29日(火) 各教区正義と平和担当者会〔京都〕

29日(月) 正義と平和・公開学習会、正義と平和委員会〔京都〕

29日(火) ~30日(木) 正義と平和・ジェンダープロジェクト〔管区事務所〕

30日(木) 原発のない世界を求める国際協議会実行委員会〔管区事務所〕

31日(木) 主事会議〔管区事務所〕

2月

4日(月) 常議員会〔管区事務所〕

9日(土) 2.8独立運動100周年記念礼拝〔東京〕

10日(日) ~14日(木) 日韓聖公会青年セミナー〔東京〕

19日(火) ~21日(木) 定期主教会〔沖縄〕

25日(月) 年金委員会〔管区事務所〕

26日(火) ~28日(木) 管区共通聖職試験〔各教区〕

(次頁へ続く)

☆12月25日(火)は降誕日礼拝のため管区事務所業務をお休みいたします。

📍管区事務所の冬期休業 12月31日(月)~1月7日(月)、管区事務所業務は休業です。よろしくお祈りいたします。

(前頁より)

<関係諸団体会議・他>

- 1月8日(火) NCC 宣教会議実行委員会〔管区事務所〕
 20日(日) NCC・カトリック一致祈祷集会〔カトリック小金井教会〕
 22日(火) IALC 世界聖公会礼拝協議会〔香港〕
 24日(木) カルト問題キリスト教連絡会〔市ヶ谷〕
 24日(木)～25日(金) 外キ協全国協議会・全国集会〔広島〕
 29日(火) WCRP 日本委員会・新春学習会〔立正佼成会〕
 31日(木) マイノリティ宣教センター運営委員会〔早稲田〕
 2月1日(金) NCC 宣教会議実行委員会〔早稲田〕
 11日(月) GFS 総会〔京都〕
 13日(水) NCC 常議員会〔早稲田〕



2018年教区会選出常置委員

北海道	聖職	広谷和文(長)	大町信也	下澤 昌
	信徒	沖田京子	尾関敏明	大友 宣
東北	聖職	長谷川清純	八木正言	涌井康福
	信徒	赤坂有司(長)	長井 淳	畠山秀文
北関東	聖職	矢萩栄司	木村直樹	小野寺 達(長)
	信徒	横川 浩	谷川 誠	菊池邦香
東京	聖職	中川英樹(長)	笹森田鶴	高橋 顕
	信徒	黒澤圭子	後藤 務	植松 功
横浜	聖職	田澤利之(長)	宇津山武志	片山 謙
	信徒	中林三平	村井恵子	高橋 保
中部	聖職	西原廉太	下原太介(長)	中尾志朗
	信徒	上野光一郎	池住 圭	牛島達夫
京都	聖職	大岡左代子(長)	古本靖久	出口 創
	信徒	佐々木靖子	木川田道子	小野周一
大阪	聖職	内田 望(長)	義平雅夫	千松清美
	信徒	辻 節子	豊川雅章	小池義郎
神戸	聖職	芳我秀一(長)	小南 晃	瀬山会治
	信徒	宮永好章	大東康人	覚前康子
九州	聖職	山崎貞司(長)	牛島幹夫	李 浩平
	信徒	柴田康子	安村 妙	秋山大路
沖縄	聖職	戸塚鉄也(長)	金 汀洙	西平妙子
	信徒	大倉信彦	洲鎌君代	立田晴記



□常議員会

第64(定期) 総会期第3回 2018年12月4日(火)

<主な決議事項>

- 2018年度収支予想および2019年度収支予想(補正予算)に関して、財政主事より説明を受け、2018年度は九州地震関連で緊急災害支援資金に大きな変動があったことや年金制度の変更による収入増などもあり、その実績を精査して、両年度予算について補正を行なうこととした。
- 2019年度管区事務所職員給与の定期昇給に関して、承認した。
- 財政主事任命に伴う会計監査員の変更に際して、黒澤圭子さんを任命することを承認した。
- 2019年度大斎克己献金の「国内伝道強化プロジェクト」(大斎克己献金応援対象)申請に関して、中部教区の地域宣教事業「サマリアハウス」(新規事業展開後は「ナザレ」へ名称変更予定) および、大阪教区の聖公会生野センター「障がい者事業の発展計画」からの申請を審議した。サマリアハウスへの1千万円の援助を承認し、聖公会生野センターに関しては資料の補足を依頼し、稟議にて判断し、決定することとした。
- 南アフリカ・グラハムスタウンのホーリークロス学校への支援(LOVE MUST ACTの事業)に関して、ステイシー・ソウルズ主教(米国聖公会退職主教・創設者)からの要請を受け、重債務国支援資金より年間1,000ドル(約10万円)を3年間、計約30万円支出することを承認した。
- ACC-17の代議員選出に関して、従来1名であった管区の枠が2名に増員されたことに伴い、上原榮正主教に加えて吉谷かおるさんを派遣することとした。

次回および次回以降の会議: 2019年2月4日(月)、4月9日(火)

□各教区

横浜

- ・ 聖職按手式 2019年2月5日(火・日本の殉教者) 10時半 横浜聖アンデレ主教座聖堂 司式:主教 イグナシオ入江修 説教:司祭 ダニエル竹内一也 司祭按手志願者:執事 トマス吉田仁志

□管区

- ・ 正義と平和委員会「公開学習会」のご案内「自然エネルギー100%の世界を目指して」

ー日本の宗教界に期待することー 2019年1月29日(火) 10時～ 講師:田浦健朗氏
会場:日本聖公会京都教区センター
参加費:無料
主催:日本聖公会 正義と平和委員会



† 逝去者 霊魂のパラダイスにおける光明と平安を祈ります。

司祭 ルカ鬼本照男(沖縄・退職) 2018年11月29日(木) 逝去(90歳)

《人 事》

北海道

司祭 ジョシュア李 香男(リ・ヒャンナム)

2018年11月9日付 聖職籍を、北海道教区より、米国聖公会ロス・アンジェルス教区に移籍する。

聖職候補生 エリザベツ阿部恵子

2018年11月21日付 聖職候補生の任を解く。

2018年11月22日 公会の執事に按手される。

執事 エリザベツ阿部恵子

2018年11月22日付 札幌キリスト教会牧師補に任ずる。

聖職候補生 ノア上平 更

2018年11月21日付 聖職候補生の任を解く。

2018年11月22日 公会の執事に按手される。

執事 ノア上平 更

2018年11月22日付 新札幌ニコラス教会牧師補に任ずる。

横浜

司祭 ダビデ島田征吾

2018年11月30日付 厚木聖ヨハネ教会管理牧師の任を解く。

司祭 テモテ姜 炯俊

2018年11月30日付 伊豆聖マリヤ教会管理牧師の任を解く。

司祭 ルカ片山 謙

2018年12月1日付 厚木聖ヨハネ教会管理牧師に任命する。

司祭 パウロ窪田真人

2018年12月1日付 伊豆聖マリヤ教会管理牧師に任命する。

京都

<信徒奉事者認可>
(富山聖マリア教会)

2018年12月1日付
ビリポ廣瀬康夫(任期1年)

神戸

ルカ宮田裕三

2018年11月23日付 日本聖公会聖職候補生に認可する。

《教会・施設》

滝乃川学園(住所変更)
2018年11月19日付

東京都国立市の町名地番整理事業実施に伴う郵便番号・住所変更
新住所:〒186-0015 東京都国立市矢川三丁目16番地の1

女性の司祭按手 20年感謝プログラムを終えて

「新しい歌を 主に向かってうたおう」

管区女性に関する課題の担当者（女性デスク） クララ 吉谷かおる



2018年11月30日～12月1日、「女性の司祭按手20年感謝プログラム」がナザレ修女会と日本聖公会東京教区聖アンデレ主教座聖堂を会場に行なわれました。この「感謝プログラム」は、1998年12月12日に日本聖公会で最初の女性の司祭按手（渋川良子司祭／中部教区）が行なわれてから20年となることを記念して企画されたもので、11月30日のナザレ修女会での女性教役者リトリート（黙想指導・上田亜樹子司祭）から始まりました。そこでともに黙想の時を過ごして備えた22名の女性教役者と当日合流した女性教役者が12月1日の聖餐式にのぞみ、主教団はじめ多くの教役者の方も加わってくださり、全国から参列した約200名の会衆と、聖アンデレ主教座聖堂で感謝の礼拝をささげました。説教者としてお迎えした英国聖公会のテリー・ロビンソン司祭（全聖公会中央協議会事務局「教会と社会における女性部門」ディレクター）は、「恐ろしい」という言葉が印象的な力強いメッセージで信徒と教役者の心を動かし、私たちが先へ進むための励ましを与えてくださいました。司式は按手順で一番新しい司祭である、麓敦子司祭（京都教区）がつとめられました。赤いストールを身に着けた数多くの女性の教役者が男性の教役者とともに聖餐式を執り行なう姿は颯爽として威厳に満ち、聖霊のさわやかな風が吹き渡るのを

感じさせるものでした。素晴らしい奉仕で礼拝を支えてくださった奏楽者井上利佳さん、東京教区聖歌隊、受付やアッシャー、オルターなどを担ってくださったみなさま、ありがとうございました。

その後の交流会では130名ほどが集まり、なごやかな祝賀の時を過ごしました。まず植松誠首座主教に祝辞をいただき、女性の教役者の自己紹介、韓国からお祝いに駆けつけてくださったゲスト（閔淑姫司祭、金ヒヨン司祭、趙明淑執事）、退職された司祭（山野繁子司祭、小貫ツマ司祭、吉岡容子司祭）、高地敬主教のスピーチなどのコーナーのほか、国内・国外からのメッセージ紹介もありました。米国聖公会で女性として初めて主教に按手されたバーバラ・ハリス主教、渋川良子司祭、ニューヨーク在住メトロポリタン・ジャパニーズ・ミニストリーの景山恭子さんからのメッセージにはみなさまも胸を熱くされたと思います。また“Back to the Future 2028→2018”と題するコントも上演されました。そこではおよそ120年前からの女性の働きがパワーポイントの写真で振り返られるとともに、未来に向けてのメッセージとしてさまざまな提言がなされました。閉会にあたっては、「女性の司祭按手20年感謝の祈り」がともに唱えられ、集められた人たちは聖歌567「歌え主に感謝」をもって、再びそれぞれの場へと派遣されました。

今日、日本聖公会のミニストリーには多くの女性たちが参加していますが、今年の総会で「女性の聖職位に関わる委員会」が設置されたように、女性の聖職位の有効性が否定される事態に備えることがいま必要であり、意思決定機関に占める女性の比率の低さなど、改善すべき問題もあります。この「感謝プログラム」に先立ち、20年の時を経て「女性司祭の実現に伴うガイドライン」が廃止され、新たに「日本聖公会にお

ける女性の司祭按手に関するガイドライン」が施行されることとなったのは、意義深いことであったと思います。テリー司祭はその説教で、「女性たちは追放の地 (a place of exile) からやって来たのだ」と語られました。「私たちは、証人としても、世界に対するキリストの器としても、十全に神に仕えることを許されない場所からやって来た。しかし追放された者、よそ者であったことを覚え続けることが重要である。その記憶はよそ者として疎外されている人たちの個々の経験を理解し、世界の片隅に押しやられている共同体と連帯する助けになるのだから」。このメッセージを深く心に留め、私たちはどこに立つのか、誰とともにありたいのかをよく考えていきたいと思います。この日、私たちは、喜びと痛みの両方を経験してきた20年から、新しい歴史をつくる一日へと踏み出しました。私たちの信仰共同体がさらに豊かなパートナーシップを築いて、ジェンダーにかかわらずひとりひとりがその賜物を生かした多様な働きをしていけるようになることを願います。

最後になりましたが、このプログラムは女性デスクと正義と平和委員会ジェンダープロジェクトが、上田亜樹子司祭、笹森田鶴司祭、大町信也司祭、北川規美子さん、木川田道子さんのご協力を得て実行委員会を組織、春から具体的な準備を始めて、全国の信徒・教役者のみなさまに協力金を通じてのご協力を広く呼びかけてまいりました。ここにすべてを書き記すことはできませんが、日本聖公会婦人会はじめ全国の婦人会、教会、団体、個人、思いを寄せご支援くださったみなさまのお力でこのプログラムが実施できたことに、この場を借りて心よりお礼を申し上げます。また会場を提供し惜しみなくご協力くださったナザレ修女会と東京教区、企画段階から

全面的なご協力をいただいた主教会と心強いサポートをいただいた管区事務所に、深く感謝申し上げます。10年前の「感謝プログラム」が有志の集まりとして開催されたことを思うとき、時の経過を通じて神さまがもたらしてくださる実りに感謝せずにいられません。これからも「新しい歌」をそれぞれに、しかし心を合わせて、恐れずに歌っていきましょう。そしてその歌が美しく天地に響き、荒れ野に花を咲かせ、平和をつくりだすものとなるように、みなさまとともに祈ります。



(写真は対馬英昭氏撮影)

※ テリー・ロビンソン司祭の説教全文訳は管区ホームページで読めるよう準備中です。英語版、韓国語版もあります。

管区事務所編集

在庫僅少

聖公会手帳 2019

- ・ 日記と年鑑を兼ねた便利性！
- ・ 教会暦・日課表を完全収録！
- ・ 教会・伝道所と関連施設が、直ぐわかる
- ・ 紙質を軽量化して使いやすさを追求！

○ 大型判 2,200 円 / 通常判 1,200 円 (税込)

申し込みは聖公会書店 (TEL 04-2900-2771)、
またはお近くの書店まで。

聖公会神学院・ウィリアムス神学館、神学生交流会

ウィリアムス神学館3年 ルカ 宮田裕三

11月3日・4日に聖公会神学院に於いて神学生交流会が開催されました。

東京と京都にある日本聖公会の神学校の学生同士の交流会は2年ぶりです。特に今回は全員が参加することが出来、日本聖公会の全神学生が集まり交流を深めることが出来ました。

始めに11月3日の諸聖徒礼拝とともに献げました。礼拝には関係者も多く参列されており、東西の神学生が一堂に集まることも滅多にないので、礼拝後のティータイムでは沢山の励ましの言葉をいただきました。その後、校内を案内していただき、図書館では多くの書籍の中から研究に必要な書籍を見つけ、資料として拝見させていただきました。

ウィリアムス神学館では聖餐式の代祷で聖公会神学院を覚えて祈っています。図書館にあるダビデ文庫を拝見し、ダビデ鈴木宏尚神学生の話がうかがい、これからもともに歩む神学校という思いを込めて祈り続けていくことを新たにいたしました。

夜は映画「ロメロ」を大教室で見ました。西原廉太郎祭推奨で、ひとこと解説もしていただき、私たち神学生が聖職としてどのような思いを持ちながら歩いて行く事が大切なのかを考える切っ掛けを与えていただきました。その後、コモンルームで交流会を行ないました。学校での学びについて、また育んできた信仰についてそれぞれ

れが分かち合い「せっかくだから、首座学生会長を選任しよう」「いいねえ」ということで、首座学生会長を選任し、笑いのうちに交流会が盛り上がりました。

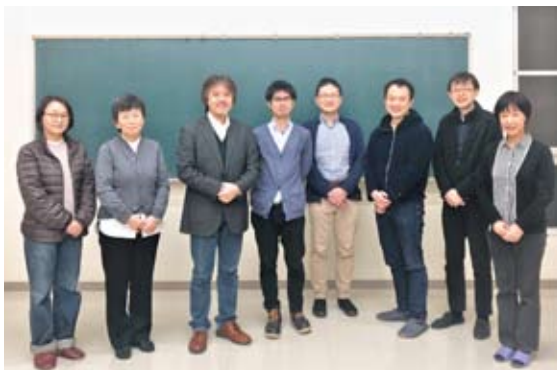
学生寮の部屋を宿泊場所として用意してくださっており、眺めの良い部屋から夜景を見ながら夜を過ごしました。

朝の礼拝とともに献げ、朝食をとるにいただき、交流会は終わりました。

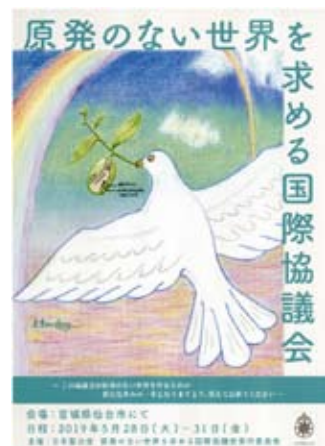
日本聖公会の聖職不足が常に言われておりますが、このような交流の機会を増やし、ともに聖職を目指すメンバーをよく知り、ともに日本聖公会を盛り上げていこうという思いを共有することの大切さをあらためて確認しました。

学生会による任意の交流会ですが、何らかの形でご支援いただき、今後も学生同士の交流の機会が設けられることを期待いたします。現在の在籍神学生は、ヤコブ荻原充（東京）、ルカ宮田裕三（神戸）、ヨハネ相原太郎（中部）、マгдаラのマリヤ島優子（九州）、ウリエル仲宗根遼祐（沖縄）、ウィリアムズ藤田誠（東京）、ヒルダ藤田美土里（東京）、エリザベト三浦千晴（北海道）の諸兄弟姉です。

ともに祈り、ともに食卓を囲み、大いに笑い、大いに考える。そこにイエス・キリストが共におり、神の国の実現へ向けて神学生一同歩んでまいりたいと思います。



(写真左から) 藤田美土里、三浦千晴、宮田裕三、仲宗根遼祐、藤田誠、荻原充、相原太郎、島優子



世界の聖公会の動向

- ・パキスタン「冒瀆罪」に無罪判決
- ・香港聖公会 祝20周年、他

管区渉外主事
司祭 ポール・トルハースト

○パキスタン最高裁、無罪判決が出されたアジア・ビビ氏の即時解放を命じる

アジア・ビビ氏は4人の子どもがいるキリスト教徒の母親で、同僚による訴えをきっかけに2010年に冒瀆罪による死刑判決を受けて以来、長らく独房で拘禁されてきた。しかし、このほどパキスタンの最高裁判所より無罪の判決が出された。

何年にもわたる遅延の末、3名の上級裁判官がようやく先延ばしにされたビビさんの主張を聞き入れ、検察当局の訴えの中に「葛藤」と「矛盾」を指摘して詳細な判決を下し、彼女の即時釈放を命じた。

パキスタンにある厳格な「冒瀆法」は国内に緊張状態を生み出す根源になっており、特に非キリスト教徒に対して有利に働く手段として利用されている事例が見られる。数名の男性が判決を受けていたが、これまで実行されてはこなかった。しかし、冒瀆罪に告発された人々は公判の前後に攻撃されたり殺されたりしてきた。

全聖公会中央協議会 (ACC) は、多くの国際

機関と共にアジア・ビビ氏の解放を求めてきた。

○20周年を迎えた香港聖公会の祝典と挑戦
香港聖公会 (HKSKH) の20周年を記念した様々な催しに世界各地からゲストが参加した。

10月6日の記念聖餐式には、中国本土、韓国、シンガポール、マレーシア、フィリピン、オーストラリア、アイルランド、英国、米国からの代表者を含む数千人が参列した。

聖餐式の司式は香港聖公会のポール・クォン首座主教が執り行い、アングリカン・コミュニオンの総主事であるジョサイア・イドゥーフエアロン博士が説教を担当した。博士はこのような晴れがましい場で話をするように招かれたことは大変光栄だと語った。そして香港聖公会の首座主教、主教、聖職者、信徒たちの働きと証しに対して次のとおり敬意を表した。

「あなたがたは『小さなものは美しい』という言葉を体現されています。あなたがたは小さい…ですが、その寛容性と柔軟性によってアングリカン・コミュニオンの中心となる存在です。」

現在、香港聖公会には香港、東カオルーン、西カオルーンの3つの教区があり、そしてマカオに特別宣教区がある。これについて博士は「来る25周年に向けて、マカオが『特別区』ではなく『教区』になることを期待しています」と提言を述べた。

今回は来年4月に香港で予定されている第17回全聖公会中央協議会 (ACC17) の実施をアピールする機会も設けられた。

『聖公会手帳 2019』 -記載内容の訂正-

『聖公会手帳 2019』の記載に修正があります。お詫びして訂正いたします。

2018年12月 日本聖公会管区事務所

■ 電話番号の修正

P.227 東松山聖ルカ教会 (誤) TEL/FAX0493-22-0662 → (正) 0493-23-4999

P.355 浅見卓司司祭 (誤) TEL/FAX0493-22-0662 → (正) 0493-23-4999

■ P.261 京都教区会計監査委員 (誤) 司祭 大岡 創 → (正) 司祭 奥 晋一郎

■ P.307 社会福祉事業・保育所の追加 (横浜教区)

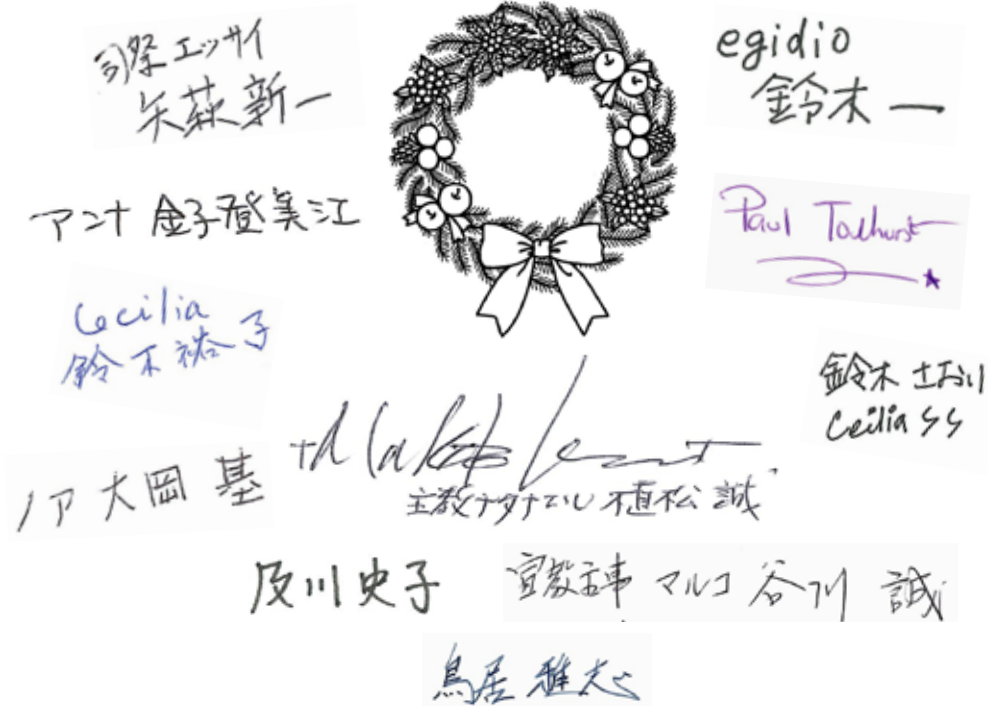
(福) 九十九里ホーム飯倉駅前あかしあこども園

〒289-2147

匝瑳市飯倉 106-1 TEL0479-85-5852/FAX0479-85-5853

園長 深堀俊美

Merry Christmas and a Happy New Year



教会の声 / 読者の声

予言は成り 馬小屋に生まれし御子

短歌 齊藤昭一 (退職司祭・仙台)

予言せしイザヤの言葉神の業必ず成りて御子は生まれり
 平和の君の國は狼と小羊豹と子山羊は共に伏せり
 えらばれしマリアに天使おめでとうあなたは恵まれ主共にいます
 マリア戸惑い思案すれど天使はあなたは身ごもり子を生むと
 子の名はイエスいと高き方の子マリアは尚も戸惑い受けざりき
 へりくだりマリアはお言葉の通りこの身になります様にと受けり
 えらばれしマリアの魂主をあがめ救い主なる神を讃える

皇帝の住民登録の勅令にマリアはバツレヘムへ旅立てり
 長旅の身重のマリア難渋もヨセフは助けバツレヘムに到る
 バツレヘム泊まる宿とてみつからずつめたき世にも馬小屋はあり
 肌寒き異臭の馬小屋ただならぬされども二人疲れ休めり
 馬小屋に産声きこえ御子生まるヨセフは助けマリア果せり
 馬小屋のいぶせき様に戸惑うも用意の布に御子はくるまる
 戸惑えど御子の臥所飼葉桶藁のぬくもり御子は寝かせり
 金殿も及ばぬ小屋の飼葉桶いぶせき臥所今も輝く
 権勢もおごりも贅もなき馬小屋世を照らす光永遠に放てり

日本聖公会管区事務所ホームページ <http://www.nskk.org/province/>

☆「管区事務所だより」についての要望・寄稿などをメール、また郵便でお寄せください。